



せいれい 聖隸よこはま

SEIREI YOKOHAMA

● 特集

センター紹介: 血液浄化センター

● 聖隸' net

『防災について考えよう』

● インフォメーション

地域連携・患者支援センターのご紹介

10月19日(日)はマンモサンデー

相鉄バス[浜4系統]乗り入れのご案内

保土ヶ谷宿場まつり出展のご案内

● 今が旬! 栄養レシピ

簡単、あったか、鮭雑炊

2025

秋

No.150



病院理念

私たちちは、隣人愛の精神のもと、
安全で良質な医療を提供し、地域に貢献し続けます



センター紹介 血液浄化センター

患者さまとご家族のこころに寄り添う医療

【血液浄化センターについて】

血液浄化センターは、透析の導入期から維持期そして終末期（緩和）まで切れ目なくサポートしています。

医師・看護師・臨床工学技士・管理栄養士・薬剤師・理学療法士など多職種が連携し包括的に支援いたします。



【多職種のサポート体制】

フットケア

看護師による足のチェックで、潰瘍や感染など足トラブルを予防します。

看護補助者による足浴、及び保湿を行っています。



超音波によるアクセス管理

シャントトラブルを早期に発見できるよう、定期的なエコー検査を実施しています。また、エコーを用いての穿刺にも対応しています。



栄養指導

管理栄養士が一人ひとりに合わせて、日々の食事を楽しみながら無理なく続けられるよう、生活に合った食事の工夫を一緒に考えます。



腎臓リハビリテーション

透析中の運動療法を取り入れ、体力の維持・心血管疾患の予防・透析時の血液の老廃物を効率的に取り除くなど「いつまでも元気に歩ける足」を目指します。

初回、3ヶ月ごとの運動機能の評価も実施しています。



ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の推進

苦痛のない透析治療をはじめ、透析導入・腎移植登録・緩和透析など、患者さま一人ひとりにあつた看護ケアを提供します。



また、多くの有資格者が在席しています。

- ・透析専門医・指導医
- ・透析看護認定看護師
- ・腎臓病療養指導士
- ・腎臓リハビリテーション指導士
- ・腎代替療法専門指導士
- ・認定血液浄化臨床工学技士
- ・透析技術認定士



病院ホームページ
血液浄化センター

【治療体制】

- ・血液透析 (HD)
- ・オンラインHDF (OHDF)
- ・腹膜透析 (PD)
- ・血漿交換 (PE)
- ・血漿吸着 (PA)
- ・腹水濾過濃縮再静注 (CART)
- ・エンドトキシン吸着 (PMX)
- ・持続的腎代替療法 (CRRT)



酢酸不耐症の方の透析液選択など、幅広い治療に対応し、患者さま一人ひとりに合った治療法を提供します。

各診療科と連携し総合的な治療の提供に加え心臓・脳血管疾患などを専門としている医師による365日24時間体制での対応が可能です。

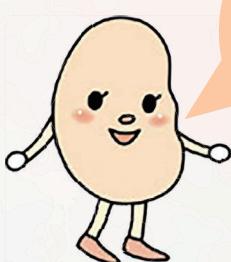
また、施設内の訪問看護ステーションが隣接して患者さまの在宅生活のサポートもしています。

【設備・環境】 ベッド数：20床（感染症対応可能な個室2室あり）

- ・清浄化透析液を使用し、質の高い透析を提供（定期的な水質検査を実施）
- ・無料テレビ、Wi-Fi完備
- ・パジャマ、タオルの貸出（有料）



プライバシーに配慮した広めのベッド間隔
両サイド
1.1m～1.5m確保



2クール制で
午前8時15分からの早い時間から
午後は14時から
開始しています。

感染症対応可能な
陰圧個室*



*陰圧個室とは…
室内の空気や空気感染する可能性のある細菌が外部に流出しないように、気圧を低くしてある個室

【医療機関の皆さまへ】～患者さまの療養を“安心・安全”に支える地域のパートナー～

透析の導入、維持、緩和透析、シャントトラブル、レスパイト入院まで幅広く対応しています。
患者さまのご紹介は、地域連携・患者支援センターまでお問い合わせください。

地域連携・患者支援センター連絡先

電話番号：045-715-3193

電話受付時間：月～金曜日 8:30～17:00、第2・4 土曜日 8:30～12:15



防災について考えよう

日本では毎年9月1日を「防災の日」と定めています。

「防災の日」とは、1923年（大正12年）9月1日に関東大震災が発生した日であると共に、また秋は台風など集中豪雨が多い時期であり、これらの自然災害への備えを怠らないよう、意識を高めることが目的とされています。

「具体的に何をすればいいの？」と悩んでいる方も多いのではないでしょうか？

今回、防災をテーマに事前にできる防災の備えについて、紹介します。

そなえよう！～災害時のはみがき～

急性期ケアユニット 看護師 つじ まいこ 達麻衣子

災害の教訓は人や社会の防災意識を変えました。備蓄するものの中に液体はみがきを備える自治体もあるようです。避難の際にはみがきをしないことによりお口の中がきれいに保たれることによる健康被害を防ぐことが重要と認知されるようになりました。予期せぬ緊急の入院においても同様です。高齢化社会において急性期病棟では入院中の口腔ケアを介した合併症予防に重点を置いています。緊急の入院になった際に歯が合わなく痛みがある、歯がぐらついているなどお口の中のトラブルを抱えている場合も多く見られます。聖隸横浜病院では訪問歯科診療で入院後のお口の中のトラブルにおいて対応する事が可能です。お身体の治療だけでなく歯やお口のことで不安などご心配ごとがあれば看護師へご相談ください。災害に備えてだけでなく、日頃より歯科受診を心がけておきたいですね。



災害時の食を守る為に出来ること

栄養課 管理栄養士 すずき あやこ 鈴木文子

食料備蓄について「最低限3日分の準備をしておくこと」ということは、情報が浸透し、意識も高まっていることと思います。防災における栄養を考えた時、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維を摂ることが重要視されます。また、災害時は食器が割れたり、断水で洗えなかったりするかもしれません。電気・ガスなどが使えず、思うように調理・後片付けができるとは限りません。レトルト食品や缶詰など、食器がなくても食べられるものを備蓄しておくと共に、食器や食具も食料備蓄と共に備えておくことが大切です。備えて便利なものを紹介します。

- たんぱく質；ツナや鮭の缶詰、魚肉ソーセージ、プロテインバーなど
- ビタミン・ミネラル；野菜ジュース、ドライフルーツなど
- アルミホイル・ラップ・ポリ袋；洗い物を削減
- 調理用手袋；水が少ない状況下で食中毒のリスクを軽減
- 牛乳パックやペットボトルなど；器として活躍



年齢別歩行速度と津波のタイムリミット

リハビリテーション課 作業療法士 **守屋 吏彩子**

皆さんは、年齢が上がるにつれて、歩行速度がゆっくりになっていくのは知っているでしょうか？

30代は平均で1分間に男性100m程度、女性で70m程度、80代では男性は55m、女性は50m程度というデータもあります。

防災マップなどをみると1km圏内の避難場所が表示されますが、1kmを歩くのには30代男性は10分程度、女性は15分程度、80代は男女ともに20分程度かかる計算です。ここに重量のある防災グッズを持ったり高齢の方で骨折や病気で身体が思うように動かず移動に時間がかかる場合がほとんどです。リハビリでは家屋調査にお伺いすることもありますが、横浜の地形の特徴として家に出入りするためには坂または階段が必須という場合がかなり多いです。

保土ヶ谷区であれば地震発生から30分程度で津波が来る可能性もあります。移動に20分以上要する事を考えると日々、防災グッズの用意や避難できる経路の確認をしておき、できるだけ早く避難することが身の安全を守る鍵になります。



お薬も災害対策を！

薬剤課 薬剤師 **磯村 玲奈**



皆さんは普段からお薬手帳を活用していますか？お薬手帳とは、服用中のお薬の名称や用法・用量などを記録しておく手帳です。お薬手帳は、薬剤師が飲み合わせや重複を確認するためのものではなく、災害時にも役に立つのです。東日本大震災では、患者さまのお薬手帳の内容を確認し、処方内容が安定した慢性疾患と判断できる場合は、処方箋がなくても保険調剤の取り扱いが可能となり、お薬を迅速にお渡しすることができました。

また、災害現場では薬の在庫が不安定なため、同じ効果のある薬への変更が頻繁に行われました。その薬剤名、アレルギー歴、副作用歴などをお薬手帳に記載することにより、他の医療機関で診察を受ける際に、継続した治療を受けることが可能となりました。

皆さんも、非常事態の際にお薬手帳を携帯できるようにする、常備薬を持ち出せるようにまとめるなど、日ごろから備えておくようにしましょう！

ほつと情報

食欲の秋は要注意！正しい血糖値測定のススメ

いいはら せりか
検査課 臨床検査技師 飯原 静里香



暑さもやわらぎ食べ物が美味しく、食欲も回復する秋がやってきます。ついつい食べ過ぎてしまうこともあります、食生活の乱れによる血糖値の上昇には注意が必要です。

特に糖尿病の有無を調べるために血液検査により血糖値を調べる必要があります。

血糖値は食事に含まれる糖分の影響を受けて大きく上下し

てしまうため、正確に診断するためには10時間以上食事や糖分の含まれた飲みものを摂らないようにした状態での血糖値（空腹時血糖値）を測定する必要があります。空腹時血糖値が126mg/dl以上の場合には糖尿病の疑いがあるため医療機関への受診が推奨されています。

「次回採血しましょう」と言わされた場合には正確な血糖値を測るために絶食した方が良いのか、内服薬は飲んで良いのかなど気になることがあれば主治医に確認してください。



OPE 室のスーパーマン？手術で大活躍な外科用イメージ

くしま かな まつや みほ
放射線課 串間 可菜 松谷 美帆

なかなか直接目にする事はないですが、当院では、移動形X線透視装置（通称：外科用イメージ）を使った手術を40件/月程行っています。外科用イメージとは、手術中にリアルタイムで体内の構造物を可視化するための装置です。これを使うことで、手術の支援をすることができます。整形外科では、骨折部位や手術に使用する金属などの体内での位置把握を目的に使用します。今回は、当院に新しく導入されたGE装置『OEC ONE』についてご紹介します。従来の装置と比べて、見える範囲も広くなり、格段に画像が綺麗に見えるようになりました。また、タッチパネルで操作ができるようになり、私たちが普段スマートフォンを使用するように、画像の拡大、反転、画像上にペイントなどたくさんのことができます。普段手術室で操作している私たち診療放射線技師だけではなく、医師からも好評な装置です！



睡眠の秋：睡眠時無呼吸症候群について

臨床工学室 臨床工学技士 番場 真夏

秋といえば食欲、芸術、スポーツなど様々ありますが、「睡眠の秋」もそのひとつ。気温や湿度が下がるこの季節は、睡眠の質が高まりやすい時期と言われています。ですが、睡眠時無呼吸症候群（SAS：サス）という睡眠中に何度も呼吸が止まる病気により、質の良い睡眠を取ることができません。

その結果、日中に眠気が来る、高血圧、心疾患などのリスクが高くなります。

そんな快眠をサポートする医療機器に「CPAP（シーパップ）」というものがあります。マスクを装着して気道に空気を送り続けることで、眠っている間の無呼吸やいびきを防ぐ効果があります。

この病気は治療によって改善することが多く、周りの人にいびきや無呼吸を指摘された場合、お早めに医師へご相談ください。



YouTube チャンネルのご案内

なかがわ まい
総務課 中川 麻衣

当院公式YouTubeチャンネルでは、医師や専門職が健康を維持するために役立つ医療情報を配信しています。

管理栄養士によるペースト食の紹介動画 第5段配信のご案内



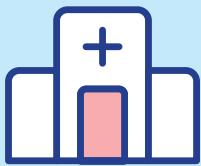
レトルト食品から作るペースト食

配信日：10月31日金曜日

ペースト食とは、噛む力や飲み込む力が弱くなった方のためにミキサーを使用して食べやすくした食事のことと言います。



聖隸横浜病院公式
YouTubeチャンネルQRコード



病院で働く職員のお仕事紹介

臨床工学室 編



臨床工学室のお仕事内容・役割を教えてください

医療の現場では、一般的に人工呼吸器や透析装置、心臓の手術で使用する人工心肺装置など、日々、様々な医療機器が患者さまの命を支えています。臨床工学技士は、こうした機器を専門に扱い、安全に使いこなすための知識と技術を備えた、医療機器のスペシャリストです。私たちの仕事は派手で目立つものではありません。透析室での血液浄化療法の管理、集中治療室での人工呼吸器や心臓の機能を助ける補助循環装置の運用、手術室での人工心肺操作、心臓カテーテル検査や緊急時の治療サポートなどその多くは患者さまやご家族の目に直接触れることはありません。それでも、日々の機械の点検や調整、トラブル対応を通して、治療を提供しています。臨床工学技士は、医師や看護師などの医療スタッフと連携し、安心・安全な医療を陰から支える存在です。医療と人、命と機械をつなぐ“縁の下の力持ち”それが私たち臨床工学技士です。



当院での業務

聖隸横浜病院の臨床工学技士が関わっている業務は、多岐にわたります。大きな枠組みでご紹介しますと、透析業務、医療機器管理業務、心臓・脳血管内カテーテル業務、ペースメーカー業務、アブレーション業務、内視鏡業務、手術室業務、呼吸器業務、在宅療法管理業務など様々なものが挙げられます。医師、看護師、医療技術部と連携しチーム医療を支えています。



夜間・緊急時の対応

当院は24時間365日心臓血管センター内科、脳神経外科の緊急時ホットライン制を敷いており、緊急を要する病態の患者さまが突然来院する可能性があります。これに備え臨床工学技士は毎日1名病院に常駐しています。緊急のカテーテル検査が入った際は、自宅待機しているスタッフをもう1名を呼びだし、2名体制で治療にあたります。夜間も常駐しているスタッフは入院病棟で急変や、医療機器のトラブルがあった場合、直ちに対応に向かいます。



仕事をするうえで大切にしていること

当院の臨床工学室は「医療機器を介し、利用者にとって最大限のベネフィットを提供する」を職場理念とし、ただ医療機器だけを取り扱うのではなく、その先にいる患者さまの存在を常に意識しながら業務にあたっています。





Information



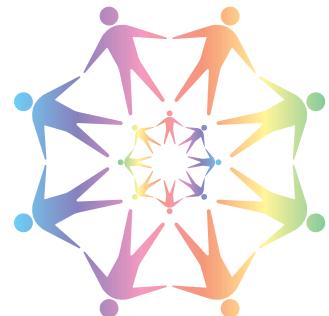
地域連携・患者支援センターのご紹介

地域連携・患者支援センター 事務 ひるみあやね 蝋海綺音

地域連携室は「自院と他院・他施設を繋ぐ部署」です！

当院では「地域連携・患者支援センター」と称しており、地域連携担当では主に以下の業務を行っています。

- ・ご紹介患者さまの事前予約や医療機関からの受診調整
- ・紹介状に対するお返事の管理
- ・症例検討会や講演会の企画・運営
- ・近隣の診療所、病院の情報収集や当院の広報業務



ご紹介患者さまがスムーズに医療機関へ受診できるよう、“繋ぐ”役割を担います！

なお、紹介状をお持ちになると、特定保険外併用療養費がかからず受診することができますので、かかりつけ医にご相談ください。

また、受け入れ業務だけではなく、当院での治療が終了したあとのかかりつけ医を探すお手伝いもさせていただいておりますので、お気軽にご相談ください！

10月19日（日）はマンモサンデー

ドック健診室 事務 ねもとめぐみ 根本慈

～乳がん・子宮がん検診を日曜日に～

平日は仕事や家事で忙しく、なかなか検診の時間が取れない方へ。

10月19日（日）、聖隸横浜病院ドック健診室では「マンモサンデー」を開催し、「乳がん・子宮がん検診」を行います。当日のスタッフは全て女性が担当します。

また、ご希望の方にはオプションで「骨密度」の検査も承っておりますので、受付スタッフにお気軽にお声掛けください。

乳がんや子宮がんは、早期発見であれば治る可能性が高い病気です。症状がなくても、定期的な検診が安心につながります。

この機会に、ぜひご自身の体と向き合ってみませんか。

日 時：10月19日（日）

検診内容：乳がん検診、子宮がん検診 【※骨密度測定（オプション）】

申込み：聖隸横浜病院ドック健診室（TEL 045-715-3158）、
又はWEBでお申込み下さい



聖隸横浜病院健康診断
WEB予約ページ

あなたの健康は、あなた自身と、あなたを大切に思う人のために。年に一度の検診で、安心を手に入れませんか？



2025年10月1日(水)から

相鉄バス【浜4系統】が 病院に乗り入れます！



相鉄バス株式会社様と連携して開始します！

今後も皆さんに安心して聖隸横浜病院をご利用いただけるよう、職員一同でサービスの向上に取り組んでいきます！



バス停留所位置；正面玄関前
横浜市営バスと同じバス停となっています。

聖隸横浜病院 停留所 時刻表

時刻	保土ヶ谷駅 東口行き	横浜駅西口 行き
8時	51	—
9時	31	40
10時	31	23
11時	51	23
12時	51	43
13時	51	38
14時	51	38
15時	51	38
16時	—	38

横浜エデンの園の

ラッピングバスが運行します！



詳しくは相鉄バスの
HPをご覧ください
◆相鉄バスホームページ

※横浜駅西口発からのバスは、尾張屋橋際に止まりません

第33回 10月12日(日)・13日(月・祝)

保土ヶ谷宿場まつり

聖隸横浜病院 出展!

地域の皆さんとの交流を深め、医療や病気について知っていただくことを目的とした体験・相談コーナーなど出展をします。

医療チームによる特別出展 !!

出展タイムスケジュール



ちょっと気になる
健康のことなど、
お気軽にご相談
ください！

時間	10月12日 (日)	10月13日 (月・祝)	時間
11:00	糖尿病チーム 11:00-13:30	骨粗しょう症 リエゾンサービスチーム 11:00-13:30	11:00
30	血糖測定や看護師・理学療法士・薬剤師による健康にまつわる相談コーナーを実施します。	骨密度検査、FRAX（骨折評価ツール）による骨折リスクの評価とアドバイスをします。	30
12:00			12:00
30			30
13:00	ハートサポートチーム 13:30-16:00	排尿ケアチーム 13:30-16:00	13:00
30	“心不全の予防・治療”をテーマに専門知識を持った医師・看護師・管理栄養士・理学療法士がむくみのセルフチェックからなど健康にまつわるお話しをします。	チェックシートを用いて、排尿に関する悩みや不安についてお答えします。	30
14:00			14:00
30			30
15:00			15:00
30			30
16:00	16:00 終了		16:00



出展場所は、保土ヶ谷駅西口側 商店街通りにあるタイムズ保土ヶ谷内です。

住所：〒240-0013

神奈川県横浜市保土ヶ谷区帷子町2丁目99



10月12日(日)・13日(月・祝)
共通出展！

ちょこっとナース
11:00~16:00



ナース服、
白衣を着て
記念撮影が
できます

ぜひ、お越しください！

旬

！栄養レシピ



今が

簡単、あつたか、鮭雑炊



栄養成分（1人分あたり）

●エネルギー	225kcal	●炭水化物	42g
●たんぱく質	7g	●塩分	0.8g
●脂質	1.9g		

材料（2人分）

① パックごはん	240g
② 鮭フレーク	40g
③ 水	400ml
④ 顆粒和風だし	5g
⑤ 醤油	5g
⑥ ごま	お好みで



ミニ知識・豆知識

鮭

鮭フレークは、手軽にたんぱく質やビタミンD、オメガ3脂肪酸などを摂取できる便利な食品です。こちらの献立は、鮭の食材の美味しさを活かしつつ、「調理が簡単」「少ない水・熱源」「日持ちする備蓄食材」です。非常時でも温かく、備蓄している食材を活かした献立です。

作り方

- ごはんと水、鮭フレーク、調味料を耐熱性があるポリ袋にいれる
- 軽く混ぜる
- 鍋の底に耐熱皿を置き、分量外の水を沸騰させる
- ポリ袋ごと、弱火で10分温める
- 15分ほど蒸らし、完成
- 器に盛りつけ、お好みでごまをトッピング



社会福祉法人 聖隸福祉事業団
聖隸横浜病院
SEIREI YOKOHAMA HOSPITAL

広報誌「聖隸よこはま」通巻 第150号 2025年10月1日発行
発行責任者／院長 大内 基史
〒240-8521 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町215
TEL.045-715-3111 FAX.045-715-3387
<https://www.seirei.or.jp/yokohama/>

